

第6章 ハワイ大学マノア校語学研修旅程表

7/28(日)	19:30 関西国際空港集合 22:10 日本航空792便にて出発
7/28(日)	11:25 ホノルル空港到着 車窓よりホノルル市内観光 13:00 又アヌパリ展望台 13:45 カカアコパーク 15:00 ホテル到着
7/29(月)	9:00 ウェルカムレセプション 10:00 授業開始 15:00 授業終了 学生寮へ移動
7/30(火)	9:00 授業開始 午後ハワイ大学の学生と50分のインターチェンジ 15:00 授業終了 学生寮へ移動
7/31(水)	9:00 授業開始 途中、1時間フラダンスのレッスン 14:30 授業終了 15:00 プナホウ学園到着 キャンパスツアー 16:30 プナホウ学園出発 16:40 ホテル到着
8/1(木)	9:00 ダウンタウンフィールドワーク 12:30 授業開始 途中、ハワイ大学の学生と50分のインターチェンジ 15:00 授業終了 15:35 ワイキキ班別研修 19:20 ホテル集合 アラモアナショッピングセンター内のフードコートで夕食
8/2(金)	9:00 授業開始 クラス別ディベート 12:00 授業終了 修了式 15:15 ハワイ大学出発 17:00 サンセットディナークルーズ
8/3(土)	10:00 ホテル出発 10:20 モアナルアガーデン 11:20 ホノルル空港到着 14:30 日本航空791便にて出発
8/4(日)	18:25 関西国際空港到着 解散

第7章 ハワイ大学マノア校での語学研修を終えて

英語科 K.M.

8月4日夕刻、北野高校にとって、第1回となる語学研修を無事に終え、30名の生徒とともにホノルルより帰国しました。ハワイ諸島を襲った20年振りのハリケーンの影響が危惧されたものの、1年をかけて準備をしたことの大半(キャンパスツアーと、ダイヤモンドヘッドトレイルは残念ながら雨の影響で中止)を現実のものとする事ができたことを担当者としては嬉しく感じています。

高校生にとって、英語でのdebateはハードルの高い目標だったのかもしれませんが。連日の9時に始まり、15時まで続く授業。深夜遅くまで、ホテルのロビーに集い翌日の準備をしている様子。帰りの飛行機で学校の宿題をしている姿。4日目、プナホウ高校への訪問日からは、晴天が続き、ダウンタウン歴史散歩、ワイキキ散策、最終日の美しい夕日と花火に恵まれたクルージングと、本来のハワイを満喫する姿。どれも、私にとってはとても誇らしく、微笑ましい思い出です。2013年の夏、32名でオアフ島で過ごしたこと。大人なっても時々思い出してください。

以下は「ハワイスタディーツアーを終えて」という題で参加者が書いた感想文です。

2年 O.T.

研修を終えて振り返ってみると、思い浮かぶのは「日本と全然違う」ということです。人々の感じ、町並み、習慣などがこんなにも違うのかと感じました。例えば、店のドアを開いたとき10メートルぐらい後ろに人がいてもその人のためにドアを開けていました。一番印象的であったのはチップの習慣です。日本ではそんな習慣を経験したことがなかったので不思議な感じでした。このようにして、初めて異文化に触れているなという気がしました。これまで中学校や高校でも異文化を理解するという機会がありましたが、実際に海外に行って自分の目でほかの国はどのようなものか体験するのとは全く違うものだと感じました。

授業のスタイルもまた日本と全く異なるものでした。大学の授業なので高校と異なるのは当たり前かもしれませんが、先生と生徒で授業を作り上げている感覚でした。先生が生徒にアイデアを求めたりして、日本の授業より先生と生徒とのやり取りが多かったです。また、生徒の答えや意見に必ずコメントを残して、少し的が外れたことを言っても、すぐに切り捨てずヒントをくれて答えに導いてくれました。日本では間違っただけを言う先生がそのまま答えてしまうこともあります。自分で考えた方がよく理解できました。もう一つ日本と異なったのがグループで考える時間が多かったことです。グループで相談する中で自然と普段話したことがない人とも話せました。日本でもグループでの活動をもう少し増やせば、お互いにコミュニケーションがとれ、もっとその人の感じが知れるのにと感じました。

最後にこの一週間は楽しみながらも本当にいろんなことを学びました。何よりも英語を理解したり、相手に分かるように話す能力がまだまだ備わっていないと感じたので、英語は今まで以上に頑張っって勉強しようと決めました。こういう風に思えるのが一番の収穫かなと思います。

2年 S.N.

今回のスタディツアーは私にとってとても素敵な経験となりました。授業はもちろんハワイの街を観光したこともです。

このツアーの一番の目的であるハワイ大学での語学研修は、思っていたよりも苦痛でなく、楽しみながら勉強できました。授業の中で一番印象に残っているものは、学生と1対2で話す「INTERCHANGE」です。もちろん学生は日本語がほとんどわからないので英語と身振り手振りで交流しました。相手の話すスピードが速く、聞き取れなかったり理解できなかったものもありましたが、ゆっくり話してくれたりとやさしくフォローをしてくれたのでなんとか乗り切れました。

そして、わたしたちのクラスを持ってくれたロバート先生は、日本人にもわかりやすい英語で話してくれたり、いつもわたしたちのことを気にかけてくださいました。お別れするときさびしくなり、泣きそうになりました。

もうひとつ印象に残っていることは、ハワイ大学の食堂で出会った白人の男性です。とてもかっこよかったので4人で声をかけ写真を撮ってもらいました。日本人に急に話しかけられたのにもかかわらず、快くOKしてくれ、ここでもハワイの人の優しさに触れることができました。そしてその男性とは帰りの空港で偶然にも再会したのです。これは本当にびっくりしました。現地の人に英語で突然声をかけるのはとても緊張しましたが、良い経験になったと思います。

このスタディツアーを通じて、わたしたちの英語はまだまだ使えるようなものではないな、と感じました。いざ、外国の方と話すとなると、頭が真っ白になり思ったように言葉が出てきませんでした。日本の授業のような文法ばかりを懸命に勉強するだけでは外国では通じなかったのです。次にこのような機会があれば今回よりももう少し英語が話せるといいな、と思っています。

2年 S.Y.

今回私が参加したこのツアーは、私たち127期生が第一号の取り組みでした。その一員として一週間ハワイで過ごしたことを振り返り、参加できてよかったと心から思います。

出発の日、ハワイとは19時間もの時差があると知りながら、不安が募り全然眠れませんでした。もし聞き取れなかったら、もし話しても通じなかったら…。恥ずかしながら私は英語の成績が芳しくないままの渡航だったのです。

ハワイに着いたのは7/28の正午頃。入国審査で何度もゆっくり言い直してもらった始末。不

安はどんどん膨らんでいきました。

空港を出れば観光へ。ハワイの美しい自然を堪能し、ホテルに着いてNさんとプールへ直行。更衣室がないという初めてのカルチャーショックを受け、また海水で足がつかない程深く、英語など他国語が飛び交うプールを二人楽しみました。

7/29、ハワイ大学へ行きました。初め英語で自己紹介をし、その後二グループに分かれキャンパスツアー。私のグループBの先生はRobert、リンカーン激似の先生でした。笑
昼食をカフェテリアで済ませ、classがスタート。私は“Julie”というEnglish nameをRobertからもらいました。早速英語のみの環境が始まりましたがRobertは分かりやすく話してくれ不安は少しずつ解消されました。この日と翌日は大学寮に泊まらせてもらうという貴重な体験も出来ました！

7/30、本格的なディベートの授業に入り、北野生同士でも英語を使うことに。まさに英語漬け。さらに午後にはInterchange。ハワイ大学の学生と50分話すのです。この日はBlakeという男性とSくんが一緒でした。やはりスピードが速く聞き取るのに一苦労、話すにも単語が分からず四苦八苦。英語力のなさを痛感しましたが、逆にとてもいい刺激になりました。

7/31は午前中フラ講習がありました。単純な物だと思っていましたが一つ一つの動きに興味が含まれていてとても難しかったです。伝統的な楽器も触らせてもらいました。午後のclassはトピックを決め本格的な準備に入りました。前日の経験から積極的に英語を使うようにすると、classがもっとおもしろいものを感じられました。

その後オバマ大統領の母校であるPUNAHOU SCHOOLへ。北野よりも歴史あるこの学校はとても広かったです。手を振ってくれる生徒を見て温かい気持ちになりました。夜はドン・キホーテでお土産買いに。とりあえず広かったです。

8/1は市バスに乗りダウンタウンへ。アロハタワーから見た海は綺麗でした。午後はclassでディベートの仕上げをし、そしてInterchange。この日はBakahという女性とYさん。賑やかな人で話していてとても楽しかったです。

この後ワイキキへ。ひたすら買い物をしていたので、K先生からは「買い物好き」とお墨付きを戴きました笑

8/2、ハワイ大学最終日。ディベートは成功し、Graduation Luncheon。何人かのスピーチのあと昼食をいただき、修了証と貝殻のネックレスをRobertからもらいました。一生の宝物です。夕食はディナークルーズで。美しいサンセットの後は花火まで見ることができ楽しかったです。

8/3、大きな木の下で、全員で“HAWAII ALOHA”の人文字を作りました！帰りたくなかったけれど予定通り飛行機は日本へ着陸、私たちは帰国。一週間の短期留学は、あっという間でした。

この一週間で私はもっと海外を好きになり、たくさんのもので得ることが出来ました。リスニング力、異文化を理解すること、積極性…。このツアーは学ぶのに必要な条件が揃っています。五段階で示すなら迷わず五を選びます。最後になりましたが、こんな素晴らしい企画に携わり支えて下さった先生、メンバー、皆様、ありがとうございました。

ハワイでの一週間はとても充実していて、あっという間だった。

きれいな景色の広がるハワイで勉強をするなんて留学しない限りチャンスがないと思い応募した。行くまでに英語の勉強をしておこうと思ったが、部活も忙しく、そこまで出来なかった。

出発当日、期待と淡い不安で飛行機に乗り込んだ。

着くと絶景が広がっていて不安なんか飛んでいった。ハワイ大学で私たちを担当してくれたのはRobertとって、リンカーンに似た風貌の、優しい先生。初めにEnglish nicknameをつけてもらった。Martha というあだ名をつけてもらい、とても気に入った。

ハワイ大学での行事の中で一番印象に残ったことは学生とのInterchangeだ。なぜこの行事が印象に残ったかという、ハワイに着いてからこのときまで授業以外にあまり英語を使う機会がなく、ようやく生きた英語に触れられたというのと、相手は日本語がわからないので、英語を使う努力をし、それを相手におおよそ理解してもらうことができたからだ。登校二日目の午後、Jordanという人と会話をした。Jordanはアメフトをしているせいか見た目が少し怖かった。緊張していたが、聞き取りやすく、自分から質問もできた。この出来事を通して恥ずかしがり屋だった私が間違えてもいいからしゃべってみようという意識を持てるようになり、とても成長できた。

ハワイの訪れた場所で一番印象に残っているのはアメリカ・オバマ大統領の母校、プナホウスクールという幼稚園～高校まで一貫の学校だ。

施設は陶芸をするところや設立した人の想いを継いだ記念館があったり、高校とは思えないくらいの立派な場所で驚いた。芝生も広くて開放的な空間で、生徒が自分の学校に誇りを持っていてカッコいいと思った。

また部活動も活発で、訪れた日にもたくさんの運動部が活動していた。

見るものすべてが新鮮で、本当に充実した一週間だった。

英語を勉強するときのこつがわかったような気がするのでもっと勉強してまたハワイを訪れたい。

ハワイスタディツアーを通して僕は多くのことを学びました。その中でも、鮮烈な印象を受けたものを挙げたいと思います。

はじめに、このツアーのキモであるハワイ大学での授業についてです。全て英語で進行され、ディベートについて学び実践して行く授業そのものもさることながら、二度に渡って行われた現地の交換留学生との交流「INTERCHANGE」が僕にとって今回最も良い経験になりました。日本では文法を多く学びますが普段から英語を声に出してコミュニケーションのツールとして使っていくことも大切であると痛感しました。発音の悪さやボキャブラリー

の少なさで伝えたいことを上手く伝えられなかったり、相手の言ったことが聞き取れず聞き返してしまったりと、少しの会話でも困難だと感じた場面も多々ありました。し

かし、その中で表情やジェスチャーがいかに有効であるかも知ることができました。コミュニケーションは口だけでなく身体全体を使って行うものであると思いました。

また、授業の形態も僕にとってはとても印象的でした。グループワークを主体とする授業は先生の説明ばかりの授業では無く生徒自身で授業を作り上げて行く様な感覚でした。先生の質問などの投げかけも会話をしている様で至極楽しいものでした。

ハワイで見た風景にも強い感銘を受けました。高層ビルが建ち並ぶ街中であっても立派な樹木がのびのびとたっている姿は心にグッとくるものがありました。このような、どんなに社会が発展しても自然と共存している様子は、ハワイの雄大な自然に対する現地の人々の愛を感じました。

ハワイで学び、文化に触れた事は僕にとって成長する為の大きな一歩となったので、このツアーに参加したことを心の底から満足しています。

2年 F.K.

ハワイでの一週間は短い時間でしたが、とても充実していました。私にとってこの研修は初めての海外で不安もありましたが、語学力を身につけられただけでなく、ハワイの文化や習慣など多くのことを学ぶことができ、貴重な経験になりました。

7月28日の夜に関西国際空港を出発しました。機内では、機内食を食べたり、初めてのことばかりで約8時間のフライトもあっという間でした。ホノルル空港に到着すると、ハワイ独特の植物の香りに包まれ、これから始まる研修への期待が膨らみました。

そのあと、バスで、ヌアヌパリ展望台やカメハメハ大王像、イオラニ宮殿などを巡りました。窓から見える街並みは整備されていて綺麗でしたが、後日、班別行動で訪れたワイキキの露店や市という、物が溢れかえっているところも印象的でした。とびっきり甘いアイスクリームや、塩辛いベーコンなど、とにかくBIGサイズで刺激的でした。日本とハワイの食文化の違いを感じたのは、日本では、ある程度セットになっているのに対して、ハワイでは、一つ一つ好きなものを選択できることです。そのように自己判断が必要な機会が多いことは、よく言われる自己主張の得手、不得手に影響しているのではないかと思います。

また、ハワイ大学での授業ですが、担当して下さったRobert先生は紳士で優しく丁寧に教えてくださり質の高い授業を受けることができました。最後に、先生方がおっしゃっていた、英語はコミュニケーションのための道具であるということ、また、会話において最も大切なことは文法や単語ではなく、相手を理解しよう、してもらおうとする気持ちだという言葉にも心打たれました。

今回の研修では、実際に向こうの方と会話しながら楽しく英語に触れることができ、机上での学習とはまた違ったものをたくさん得ることができました。本当にありがとうございました。

2年 I.Y.

ハワイスタディツアーに申し込んだとき一番心配だったのは言葉の問題でした。先生の言っていることが全く分からなかったらどうしよう、何の勉強にもならないのではないかとずっと心配していました。ハワイ大学の研修初日、初めて現地の人と話をしました。「高校にはどんな行事がある？」と聞かれ、縄跳びや断郊競争のことを自分なりの英語で答えてみるとちゃんと相手は分かってくれました。この時すごく安心したのと同時に「英語で話すのって楽しい」と思えるようになりました。その後も英語を使って話すプログラムが盛りだくさんでした。

ハワイのプログラムの中で特に印象に残っているのが現地の大学生との2回のインターチェンジです。これは北野生2人と大学生1人のグループで先生のいない所で約1時間位英語を使って雑談するというものです。

会話の始まりはやはり相手のことに関する質問から入ります。しかし初めは答えの後に続ける話題やそれを英語でどうあらわすのかということを考え込んでしまい、会話が進みませんでした。ですがだんだん英語に慣れてくると、相手が何を言っているのかわかるようになり、こちらもスムーズに答えられるようになりました。1時間英語だけを使って会話したことでspeakingやlisteningの力が大幅に伸びたと思います。

ハワイ大学での最初の日、僕は先生に”I can't speak English“といいました。自分の英語に全然自信がなかったからです。スタディツアーを終えた今、僕は胸を張って”I can speak English”といえます。

ハワイでの1週間で僕が得た1番大きいものは英語を話せるという自信です。今これを読んでいる後輩の皆さん。来年は是非ハワイスタディツアーに応募してください。英語があふれている環境の中に身を置くことは不安ですし、驚くことも困ることもあるでしょう。でも日本に帰ってきたときには自信を持ったひとつ大きな自分になっていますよ！

2年 K.K.

ハワイスタディツアーを終えての感想や報告、要望などを書きます。

まず、ハワイ大学でのディベートの授業について。概ね良かったと思います。授業中もなるべく英語を使うようにしたり、英語で相手と議論したことは、英語をよく聞いて、相手に分かりやすいように話す練習になりました。ただ、正直これは北野でもできることだと思います。実際、一年生のときにオーラルの授業で英語でディベートをやりました。オーラルの授業と違った点は、仲間の間で相談するときにもなるべく英語を使ったことと、しっかりと練習や準備をして臨んだことです。どうせなら、せっかくハワイ大学に来ているので、現地の生徒とディベートするのもいいと思います。もちろん、英語でディベートすると現地の生徒が強いでしょうが、ネイティブな英語に触れることもできるし、そういう機会があっても良いのではないかと思います。

次に、ハワイ大学でのinterchangeについて。これはとても良かったです。最初のほうは相手の英語をしっかりと聞き取ることが難しく、何回か聞き直してしまいました。やっぱり慣

れることが大切だと思いました。相手の話をしっかりと聞き、理解し、そして自分の伝えたいことをしっかりと伝えることによって、英語が上達したと思います。それに、単純に向こうの生徒との話はおもしろかったです。相手と自分の理解の間に齟齬があるかもしれませんが、外国の人と交流するのはとても良い経験になりました。だから、interchangeの機会をもう少し増やしてほしいです。

次は、ハワイ大学以外のことです。

ホテルは、きれいで使いやすく、良かったです。

ワイキキビーチがきれいで、思い出に残りました。ただ、ワイキキ通りは、ブランド店が多く、高かったです。

ディナークルーズは、海はきれいだったけど、周りの環境がうるさくて、予想していたのとは違っていました。ゆっくり食事しながら海を眺めたりしたかったです。

2年 K.S.

ハワイスタディツアーを終えて、僕が一番学んだことは、英語というものは学校でテストのため、単位をとるため、大学入試のために勉強する教科ではなく、世界中の様々な人々とコミュニケーションをとるために必要不可欠なツールである、ということでした。

そして、英語が話せるというのは、学校の授業や成績とは関係なく、自分が英語を話すということにどれだけ自信がもてるか、英語を実際に使って会話をしてどれだけ英語というものに馴れるか、であるということを実感しました。

ハワイでの約一週間のスタディツアーの中では、友達との会話以外はすべてが英語でした。日本人以外の人と会話をしたことがなかった僕にとっては、正直、現地の人々が話す英語はスピードも速くほぼ聞き取れず、理解できませんでした。ほとんどわからなかったので適当にはい、はい、と受け流していました。しかし、授業の先生や現地の学生の方たちは、自分が話すめっちゃくちゃな英語でもなんとかして理解しようとしてくださり、また反対に自分がぜんぜん言っていることを理解できなかったときには、ゆっくりと話したり、絵を描いて説明したりして何とかコミュニケーションをとることができました。

このスタディツアーで、英語での会話はまだまだとても難しいと感じました。自分が今まで受けてきた何年間もの英語の授業はいったいなんだったのかとさえ思いました。しかし、何とかして英語で自分を理解してもらえたことにはとても嬉しくて、もっと英語が使えるら世界中のいろんな人々と交流ができ、どれだけ楽しいのかと思いました。そしてもっともっと英語力を身につけて、また海外で人々と交流する機会を得たときには楽に会話ができ、会話をもっと楽しめるようになりたいです。

2年 S.Y.

ハワイ大学への研修を終えて僕が最も感じたことは、英語を使えるようになるためには知

識や度胸、そして経験のすべてがそろふ必要があるということです。僕はもちろん海外経験はなく、英語を使うのは学校での授業だけでそれもないものではありませんでした。なので、今回ははじめての実際に英語を使用する機会でした。僕はよく「英語は言葉だから度胸と根性でどうにでもなる。」というようなことを耳にします。実際これは正しいと思います。言葉を使えなくてもジェスチャーなどでコミュニケーションをとることはできます。しかし、知識も重要だということを思い知らされました。大学の職員の方々は簡単な英語で会話してくれたため、かなり理解することができました。しかし、学生と交流するインターチェンジのとき、学生はどの単語がむずかしいかはわからないためこちらが理解できないことが多く、自分の知識量の無さを痛感しました。理解できないため、なにをしゃべればよいかわからず結果臆病になり、1回目のインターチェンジはあまり会話できませんでした。2回目は前回の反省を生かし、すこし理解できなくても積極的にしゃべっていこうと思ったおかげでかなり会話することができ、会話を楽しむ余裕もあったように思います。大学外での活動では、一般の人々と話す機会がありましたが、一般の人々の英語は学生よりも聞き取りにくい英語で、ほとんど理解できませんでした。これを聞き取り、そして理解するには経験を積むしかないと感じました。

今回の研修では、英語だけにかかわらず、さまざまなことを体験することができたと同時に、将来のために日々の生活をどのようにするかをあらためて考えさせられたように思います。これからも、今回の体験を生かせるように努力したいです。

2年 H.R.

今回の旅は、高校のメンバーであったからこそ有意義だったと思います。私たちと現地では出会った人だったからできたことが沢山ありました。

ハワイ大学と一緒に学んだ先生はルーです。敬称をつけずに呼びます。ルーが教室で陽気な雰囲気を出しますので、内気な私でも発言しようという気になりました。レッスンは、まるでキャッチボールをしているようでした。英語で投げてキャッチする点が難しかったです。満遍なくボールが回ってきます。グループで力を合わせて、あるいは一人で頑張り返しました。もっと正確にもっと速く投げられたら、もっと楽しめたのではないかと悔しいです。しかし、クラス全体で協力して充実した授業を作り上げました。各々の個性が発揮されていて素晴らしかったです。

観光も満喫しました。その中でも、ディナークルーズが一番の思い出です。船の上で夕食をとったり、青い海と赤く染まったダイヤモンドヘッドを背景にしてみんなで写真を撮ったり、最後にワイキキのビーチから打ち上げられる花火を見たりして楽しみました。その時、私は酔っていました。波に揺られるのもいい経験です。私と同じ人がもう一人いたのですが、心配してくれる友達と先生やガイドさんがいて本当にうれしかったです。

他にも忘れられない思い出ができました。そのほとんどが、人あるいは自然の温もりで満たされています。一人で持っているにはもったいない幸せです。それを分かち合える仲間も得ることができました。

2年 M.D.

このハワイスタディツアーではたくさんのことを学びました。一日中英語に触れられる体験なんて人生で数少ないと思います。ハワイ大学での授業はもちろん英語でした。授業では主にディベートを勉強しました。最後の授業では英語で実際ディベートをしました。大学の食堂はいろんなものが売られていて、日本食もありました。でも、日本に比べて味が少し濃かったです。

大学で一番印象に残っているのが、大学の交換留学生との交流です。二回あったうち、一回目は2対1での会話でしたが、二回目は1対1でした。もうひとりの人がいないので、自分だけに視線が向けられて緊張しました。相手の言ったことが聞き取れなくて聞き返すこともありました。文法は正確でなくても通じましたが、発音は聞き返されることがありました。英語の表現でも、通じなくて顔をしかめられることがありました。そのときは、身振り手振りでジェスチャーすることで通じました。

フィールドワークでダウンタウンにも行きました。そこでは、大学の先生と一緒に建造物を見てまわりながらハワイの歴史について学びました。とても高い時計台にも行きました。そこからは、絶好の景色が見られました。ハワイのビルは高く、たくさんありました。授業後にはハワイの観光に行きました。なかでも、ワイキキビーチは絶景でした。テレビで見るとは違う迫力が感じられました。海は少し緑がかっていて透き通っていました。最終日前日にはディナークルーズに行きました。きれいな海に囲まれながら海の上でバイキングを食べました。

このハワイでは、文化の違う英語圏での生活で、英語をより身近に感じられました。この機会に英語をもっと勉強しようと思いました。このツアーは一生忘れられない思い出になりました。

2年 Y.K.

今回のツアーで日本ではできない様々な体験をした。まず初めに驚いたことは、アメリカの国民性だった。ハワイに行くまでは、アメリカ人は図太くて、周りのことはあまり気にしない人ばかりだと思っていた。しかし、アメリカの人は皆自分がドアを開けると、後ろにいる見知らぬ人のためにドアを開けて待っているのではないか。日本ではまず見ない光景だ。また、道端で現地の人に目が合うと笑顔であいさつしてくる。もし日本で見知らぬ人にあいさつすると、おそらく白い目で見られるだろう。向こうでこれらを見てみると、日本人はなんてふてぶてしいのだと、情けなく思った。今まで日本が一番と思っていた自分の世界が、このツアーでかなり変わったと思う。

今回のツアーでの一番の収穫だと思ったのは、外国人との交流である。自分は今までした外国人と話したのは、学校のALTの先生ぐらいしかなかった。しかも、そういった先生は大概日本語が分かることが多い。ハワイのアメリカ人は日本語は結構通じるのだろうか、と思っていた。しかし、ハワイの人でも日本語が分かる人はほとんど、いや、全くいなかった感じだ。だから、お店で商品の場所を聞いたり、注文を頼むときにしても英語で話さないとい

けない。そんなの当たり前だと言われるかもしれないが、日本ではできないとても貴重な体験だと思う。また、ツアーの企画の一つのハワイ大学での講義も貴重な交流だったが、その中のインターチェンジはもっとやりたかったと思う。ハワイ大学の生徒と三人一組で一時間話し合うというものだったが、あれほど外国人と長く話したのは初めてだった。これのおかげで外国人と話すことに対する躊躇いがかなりなくなった。どういう言葉を話せばいいのかわからないときに、一生懸命話すと伝わったときは嬉しかった。

自分はこのツアーに参加して得たことは、きっと将来に繋がると思う。これから海外の人と話すときは自信を持って会話できそうだ。

2年 I.M.

ハワイで過ごした約7日間は本当に貴重な経験になりました。日本とは違うたくさんの文化に触れて、日本に帰ってきたときには逆に違和感があつたくらいでした。

1日目は観光をして、大学の授業は2日目からでした。私は英語をペラペラ話せるわけでもないの、先生が言っていることもわからずついていけなかったらどうしよう、ととても不安でした。ですが授業が始まると担当のロバート先生はゆっくりとわかりやすい単語を使って話してくれて、ほとんど内容を理解できて安心しました。また私は今回が初の海外で、海外の習慣などを全く知らずそれも不安だったのですが、私以外にも初海外の人がたくさんいることを知り、心配しすぎたなぁと思いました。

4日目は大学の授業が終わったあとオバマ大統領の出身校であるPUNAHOU SCHOOLを訪問しました。公立と思えないほど敷地が大きく、学校の中にきれいなチャペルがあつたりして驚きました。夏休みだったので生徒はほとんどいませんでしたが、案内してくれた生徒や、アメフトの練習をしていた生徒と写真を撮ったりしてとても楽しかったです。

このスタディツアーで一番の思い出は6日目の最後の夜のディナークルーズです。バイキングのご飯を食べてから、デッキに上ってダイヤモンドヘッドやサンセットを見たりしました。偶然、その日は花火があがる日だったらしく、海の上から花火を見ることもできてとてもラッキーでした!! 最後の方はすごく盛りあがって、ほかのお客さんがノリノリで踊ったり、それに合わせて手を叩いたりしていました。これがアメリカのノリなんだと思いました。

最終日、バスに乗って空港へ向かうとき、もう少しいたいと思いました。ハワイでの生活は、はじめは不安だったのがウソみたいに楽しくて、明るいものでした。不安すぎて迷いながら応募したけど、これは行かなかつたら後悔していたなぁと思いました。

2年 S.K.

初めての海外でハワイ研修に参加できて最高の夏休みでした。

ハワイ大学の授業についていけるか、とても心配でしたが、明るい太陽、フレンドリーな

人々と、開放的な自由な雰囲気の中でその心配はいつの間にかどこかにとんでしまいました。

ハワイ大学の授業は、先生が私たちにわかりやすい単語を選んで、比較的ゆっくり話してくださったので、内容はほぼ理解することができました。高校の授業で何度か英語でのディベートは経験したことが有りましたが、準備期間からすべて英語を使うこととなり、最初は少し戸惑いました。しかし、クラスティーチャーであるロバート先生の助けもあり、何とかこなすことができました。

面白かったのは、インターチェンジというハワイ大学の学生と会話する時間でした。高校で習っている科目や趣味のこと、ハワイでお勧めのお店などの話をしました。お互いに *walking dead* という海外ドラマを見ていることが分かり、話が盛り上がりました。

私が楽しみにしていたのはハワイスタイルの食事でした。サンドウィッチ、パンケーキ、ハンバーガー、などはなかなか私の好みの味でした。特に、パイナップルは果汁たっぷりでおいしく、7日間で1玉ぐらいは食べました。ハワイではお米を食べる習慣があり、ごはんも食べることができました。そのおかげで、日本料理が恋しくなることはありませんでした。

6日目のサンセットクルーズはとても印象に残っています。船からゆっくり地平線に沈んでいく太陽、太陽光線に照らされて刻々変わっていく海と、空の色、感動的でした。何枚も写真をとりました。その写真は今パソコンのデスクトップに設定しています。船の中でダンスを見ながら食べる食事も絶品でした。

今回の研修で私は自由な雰囲気を放つハワイに惚れました。このツアーに参加させてくれた両親、そして先生方に感謝です。

2年 Y.M.

このツアーで一番楽しかったことは、ハワイ大学の学生さんと話したことです。一時間ほど、その学生さん一人と私たち二人の三人で、ハワイ大学内のカフェテリアなどで話しました。初めて話をする前は、すごく緊張してうまく話せるか不安でした。話し始めると、ハワイ大学の学生さんがすごく優しく、私たちにわかりやすくしゃべってくれたので、多少かたごとでもいろんな話をすることができました。私は、"Where place do you like?" と聞きました。文法とか発音とかあったのか、あせっていたので全然わからなかったけど、私が言いたいことを理解してくれて、質問に答えてくれました。

海外に行ったのはこのツアーが初めてで、日本とは違ういろいろな経験ができました。アメリカのfoodです。どこで食べてもピザやハンバーガー、ポテトはありました。日本より脂っこいものが多いのに野菜がないので、私は胃が結構疲れていました。でも、日本では味わえないものばかりで楽しかったです。

二日間だけハワイ大学の寮に泊まりました。この二日間で、私と一緒に行動していた友達はずいぶんいい経験をしました。寮に泊まっている間の食事はすぐそばにあるバイキング形式のカフェテリアに行くのですが、そこには、たくさんの人がいてその中に欧米っぽい顔立ちでとてもかっこいい人を私たちは見つけました。この人の名前は結局聞き忘れたのですが、私たちは"ウィリアム"と呼んでいます。彼を見つけたのは二日目の夕食のときで、そのときは、

帰りにドアを開けていてくれました。私たちは一緒に写真を撮ろうと思って、次の日の朝食の帰りに ” Would you be in the picture with us? ” と言いました。彼は快く ” Yeah. ” と言って一緒に写真を撮ってくれました。知らない外国人に話しかけたのは初めてだったのでなかなか勇気が出なかったけど、今思えばよかったと思います。

2年 Y.S.

出発の日まで全然実感が無かったのに、関西空港に集合してから急に不安になってきてハワイに着くまでとても緊張していました。でも、むこうに着いてきれいな景色を見たら、そんな不安な気持ちはいつのまにか消えていました。ハワイは結構涼しくて少し驚きました。

着いた日に訪れたヌアヌパリ展望台から見たきれいな景色はとても印象に残っています。日本とは違う景色を見て、やっと海外に来たことを実感しました。ハワイはどこに行っても自然がきれいでした。

次の日からハワイ大学に行きました。正直、英語に自信がなかったのでとても緊張していました。でも、私のクラスの先生のRueはとても面白く、私たちが理解できるようにゆっくり話してくれたので安心しました。Rueは初めに、とにかく失敗するのを怖がらないで英語を使ってほしいと言いました。最初は難しかったです。でも、時々授業では思いついた意見をRueに向かってぼんぼん出して、と言われることもあって、だんだん積極的に発言できるようになりました。授業では最終日のディベートに向けてみんなで考えたり、大学の図書館でパソコンを使っていろいろ調べたりもしました。大学では授業以外にフラの体験や、ハワイ大学の学生との交流もありました。この交流ではなかなか言葉が出なくて思っていることが伝わらず、もっと英語で話せるようになりたいと思いました。でも、自分の話す英語が少しでも伝わるとわかってうれしかったです。また、大学の寮に泊まれたこともいい体験になりました。授業4日目にはダウンタウンのフィールドワークでハワイの歴史についても少し知ることができました。

ハワイで過ごした一週間は、本当に楽しくあっという間でした。特に大学の授業は、初めは不安しかなかったけれど予想以上に楽しく、最後の授業が終わった後はさびしくなったほどです。他にもいろいろな経験ができました。このスタディツアーに参加することができて本当によかったです。

2年 S.N.

ハワイスタディツアーに参加して、書きつくせないほどたくさんのすてきな体験ができました。すべてが楽しすぎて、いまだに余韻にひたっています。

まず、一番印象に残っているのがInterchangerとよばれる現地の大学生との交流です。最初は、私のつたない英語が伝わるのか、相手の話してくれる内容を聞き取り、理解できるのかとても不安でした。しかし、始めてみれば、案外スムーズに会話が運ぶのでとても面白い体験でした。相手の言いたいことがわかって、自分の言いたいことを相手にわかってもら

えるように伝えるというのは、会話においてとても基本的でとても大切なことなのに、普段日本語で会話するときにはあまり意識していなかったことを痛感しました。

そして、このツアーでの一番の思い出は、とにかく授業が楽しかったことです。私たちのクラスの先生のRueにディベートをするときのポイントを教えてもらいながら、自分たちでディベートのテーマを考えて決めたり、意見の根拠となる資料をネットから探したり、自分の原稿をまとめたりして、最終日のディベートにそなえました。ディベートは本当に楽しかったです。時間も計るなどかなり本格的なもので難しく、とても緊張しましたが、わくわくしました。

このツアーに参加して、英語を話すことを怖がらなくていいと思えるようになれました。一生懸命に伝えようとするれば、相手も私のことをわかろうと努力してくれるということを肌で感じることができて、また、伝えたいことがうまく伝わったときの達成感を味わうことができたので、これはこれからもずっと英語を学んでいくうえでの励みになると思います。

参加するかかなり迷いましたが、今では心から参加してよかったと思います。ありがとうございました。

2年 S.A.

この語学研修に参加したきっかけは親の勧めでしたが、今思い返しても高2の夏にこのような素晴らしい体験ができて、本当に良かったと思っています。研修内容として、ハワイ大学で5日間All Englishの授業を受けると聞いて、直前まで期待と不安でいっぱいでした。ですが、実際授業が始まってみると、先生のMr.Rueがジョークを交えながら、直前の不安は何だったのか!?と思うほどとても楽しく教えてくださりました。学習のテーマは「Debate」で、最初は簡単なDebateやグループワークが主でしたが、徐々に内容も難しくなり、図書館での調べ物学習や“Interchange”(現地の大学生1人、北野生2人で会話)を一時間×2回などもしました。ここまででは序の口で一番大変だったのが、最終日に生徒2チーム7人、7人、審判係(生徒1人とMr.Rue)に分かれてのDebateでした。今まで宿題が少なかったのも、夜はランプなどで遊んだりしていましたが、この日の前日ばかりは部屋移動しても遊んだりせず、各自明日の準備に取り組んでいました。結果として、Debateは引き分けでしたが、みんなにとっても私にとっても、とても内容の濃くて忘れられない日になったとおもいます。

有難いことに、5日間みっちり勉強漬けではなく、市内観光にショッピング、プールに海、ディナークルーズなどが授業後に企画されていて良い息抜きとなりました。ショッピングでは、店員さんと日常会話程度でしたが、英語がちゃんと通じたので嬉しかったし、自信もつきました。言うまでもなくディナークルーズもめっちゃ楽しかったです!!!

最後になりましたが、この研修は家族旅行とは全くの別物です!!ここでしか学べないことや新たに自分が何をしたいのか、何をすべきか、いろいろと考えさせてくれるものでした。ぜひ、今後も続けてほしいです!!

2年 N.R.

普段とは違う場所で、普段とは違う言語で……。慣れないことをすることにとても不安でした。そんな中、ハワイ大学の先生はこうおっしゃいました。

“Don't be shy!!”

この言葉を聞かなかった日はありませんでした。

ハワイに着くまで、1週間英語を話すなんて……。正直英語が苦手な私には恐怖心がありました。確かに授業はもちろん、買い物に行ってもダウンタウンに行っても日本語なんか聞こえるはずがなく、ほとんどが英語でした。けれどもなぜか英語を使ってみると怖くもなんともなかったのです。授業中、友達と相談するのにカタコトではあったけれども極力英語で話し、ジェスチャーしながら言いたいことを相手に伝えるのは楽しかったです。

大学でのプログラムのメインはディベートをすることだったのですが、最も印象に残っているのはプログラムの中に2回あったInterchangeというものです。これはネイティブの方と英語で交流するというものでした。1回目、私は何を話していいかわからず、またどう英語で表現したらいいかわからず、うまく相手の方と話せませんでした。緊張して頭が真っ白になって、終わった後にすごく後悔しました。2回目は1回目のような失敗はしないように心して挑みました。緊張はしたけれど、1回目に比べていろんなことを話すことができすぎて充実した時間でした。ほかにもフラダンスを習ったりフィールドワークに行ったりと楽しかったです。

初日はあいにくの20年ぶりのハリケーン直撃でしたが、普段の生活や授業ではできないことを1週間だけでも経験できてよかったと思います。最終日、卒業証書をもたらえてとてもうれしかったです!!!!

2年 N.Y.

私がこのハワイスタディツアー(以下ツアー)に申し込んだのは「外国の方達とコミュニケーションを取りたい」と思ったからです。しかし、英語は得意な方ではなく心配なことも多くありました。一緒に参加したメンバーには話したこともない学生が多くいました。それでも帰る頃にはもう少しハワイに居たいと思う位充実した8日間でした。

大学での学習で私が最も印象に残っているのは2回行ったインターチェンジです。これはハワイ大学の学生達と会話をするプログラムです。場所は授業を行っていた教室ではなく近くの飲食店へ行ったので、少し落ち着くことが出来ました。1回目は心の準備もできておらず緊張し、思ったようには話せませんでした。しかし相手の方は私が返事に困っていたら、分かりやすく例えを示してくれたり絵に描いてくれたり写真を見せてくれたりと一生懸命にコミュニケーションを取ろうとしてくれました。だから私も2回目は準備をしてしっかりと自分の思いを伝えることができるよう努力をしました。満足できる会話をすることはできませんでしたが、たった50分間というとても短い時間を楽しむことが出来ました。そしてコミュニケーションを取ることの大切さや楽しさを改めて感じました。

授業の一部でダウンタウンへフィールドワークをしたのも印象に残っています。大学の先

生が歴史ある所を案内してくれたのですが、知らない単語が多く理解できなかったこともありました。自分の知識量の少なさを改めて思い知らされました。

またフラダンスも教えてもらい、少しですがハワイの文化にも触れる事が出来ました。このツアーに行く前にハワイの文化や歴史について学んだのですが、やはり現地に行って自分の目で見て体験することは本当に自分のためになると思いました。

このツアーで学んだ事はこれらだけではありません。それは自分のまわりの環境です。一緒に参加したメンバーは私と同じ北野生だとは思えないくらい英語力、行動力が高く、様々な場面で驚かされました。こんなに自分の近くに尊敬できる人達を見つける事ができ、私は彼ら彼女らを目標にこれから頑張ろうと思えました。

今回このような貴重な経験をさせてもらい、もっと英語の勉強をして様々な国を訪れてみたいと思いました。このツアーに携わって下さったすべての方々、本当に感謝致します。

2年 T.A.

英語が好きなのと異文化に興味があるのがきっかけで、ハワイスタディツアーに参加しました。参加することが決まってから、自分の英語力でやっていけるだろうかとずっと不安でした。

そして、緊張しながらハワイに到着。日本より涼しく、緑と建物の景観が素晴らしいところでした。

大学の授業は先生が優しくゆっくり話してくれたので不安はなくなり、自分の英語力でもついていくことができました。本格的なディベートは初めてでしたが、先生が一から丁寧に教えてくださったので授業が嫌だと思えることはなかったです。むしろ面白く、終わるのが早いなど毎日感じていました。

私達のクラスでは「Car or Public transportation」という題でディベートをしました。先生にアドバイスをもらいながらチームで意見や情報を出しあったりして準備をしました。本番前は自分の言っていることが相手に伝わるかなど心配事ばかりでしたが、いざ始めるととても楽しく、responseを相談しているときは相手チームより明らかに騒がしかったのを覚えています。結果は引き分けで悔しかったですが、良い経験をする事ができました。ツアーの中での一番の思い出です。

ハワイに滞在して驚いたのは、食文化の違いです。料理の量にびっくりしました。初日の夕食は食べてもなかなか減らず、食べ終わったと思ったら次の料理が…。最後に出されたケーキの高さは忘れられません。もちろんホテルだけでなく、大学内のカフェテリアやショッピングセンター内のフードコートメニューの料理も量が多かったです。なので、自分が食べ切れるメニューを探すのに苦労しました。また、味付けも異なり、特にパンやデザートなどは日本より甘かったです。

他にも書ききれないくらいたくさんの体験をさせてもらい、充実した時間を過ごす事ができました。このような機会を与えてくださったことに感謝しています。そして、それらを通してハワイがもっと好きになったのでまた行きたいです。

2年 H.S.

まず、このハワイ研修に応募するところから振り返ってみると、応募するのにずいぶん悩んだことを思い出しました。海外研修など参加したこともなかったので、行きたいという思いと共に外国できちんと自分はコミュニケーションをとれるのか、など多くの不安もありました。そこで、家族とも相談し、将来に役立つ経験になるだろうということで参加を決めました。これからの社会はますますグローバル化が進むと予測されています。自分が大人になった時に英語は不可欠な言語となっていると思うので、英語圏の文化に触れて英語に慣れる良いきっかけになると思いました。

ハワイに入国し、1日目は観光でした。日本では見たことのないような自然に出会うことができました。2日目から後の5日間はハワイ大学での語学研修が始まりました。1番始めに「Debateとは何か、Conversationとは何か」を考えるとということから始まりました。グループに分かれその中で意見を出し合い、それを発表していくという流れだったのですが、その時、「自分の思っていることを思った通りに伝えるのは、なんて難しいんだろう!」と感じました。中日にはハワイ大学の学生と交流もできました。語学研修中では主にディベートを勉強していましたが、学生の方々にはそのディベートのトピックスについて意見を聞いたりしました。他にも趣味やハワイについて話したりしてとても楽しい時間であったという間でした。大学最終日には2派に分かれて、ディベートをしました。事前準備など大変でしたが終了したときは達成感があり、「ハワイ大学に来ることができて良かった!!」と思いました。

研修中は勉強以外にもショッピングや観光、海など色々楽しいことに溢れていました。毎日が新しい刺激に満ちていて日本に居たころの不安が嘘みたいでした。行ってみなければ経験できないことばかりで、研修に参加できたことを幸せに思います!!!

2年 H.H.

ハワイスタディツァーの話聞いた時に、私はすぐに行きたい!と思いました。こんな機会二度とない!絶好のチャンスだ!と思いました。

私はRue先生のクラスでした。Rueはいつもゆっくり丁寧に話してくれて、リスニングに不安のあった私でも聞き取ることにあまり苦労しませんでした。Rueの授業はしんどいと感じることはなく、毎日授業を楽しむことができました。授業は主にディベートについてで、自家用車と公共交通機関のどちらを使うべきかという議題でした。様々な角度から利点・問題点を考え、言葉使いを相談したりしました。中でも、大学内の図書館のコンピューター室でディベートに使う意見を調べました。様々なサイトを見ながら自分の意見をまとめました。全部英語なのにみんなすごい!と褒められ嬉しかったです。最終日のディベートの本番はすごく緊張していました。でも、いざ始めてみると、こんな視点もあるのか、と勉強になることが多く、どう返そう?とみんなと意見を出し合い考え発表するというのが、わくわくしてすごく楽しかったです。

一番印象に残ったInterchangeでは、二人の現地の学生と話すことができました。二人とも、私たちがうまく英語にして伝えられなくても、理解しようとしてくれて、嬉しかったです。

私は怖がらず楽しんで会話するができました。家族、好きな音楽、ハワイのおすすめの場所やお土産、日本のことなどを話しました。また、名前のお話で盛り上がり、「H」ってどういう意味なの？と聞かれ、友達も私も説明に困ってしまいました。

校外学習では、イオラニ宮殿などを回り、ハワイの歴史について学びました。どれも知らないことばかりで、勉強になったし、色んな場所を回れて楽しかったです。

他にも、高校訪問とか、ワイキキのビーチがすごく綺麗だったとか、まだまだ書きたい思い出はたくさんあります。

行ってよかったと心から思うし、すごく楽しくて充実した一週間でした。

2年 A.T.

ハワイへの旅は、まるで修学旅行のようでした。

同じ学年の子たちといっしょに、プールで泳いだり名所観光をしたりショッピングをしたり部屋で遊んだり。楽しいことばかりが、記憶に残っています。

予想外の体験もできました。二日目の夜のことです。私たちはハワイ大学で授業を受けたあと、晩ごはんを食べに、大学内のカフェテリアへ向かいました。指定のカードを持っていれば、無料で食事がもらえるシステムでした。私たちは、添乗員さんからもらったカードを受付で見せました。するとなんと、「これは明日の朝からしか使えないよ」と英語で言われたのです。たしかに、予約一覧にも北野の名前は入っていませんでした。つまり、私たち三十人は、晩ごはんが食べられないのです。

先生たちは、大学から離れたホテルに帰ってしまって、連絡がとれません。みんなで相談して、学生寮の管理人さんに事情を話し、なんとかカフェテリアに入れてもらえました。このとき、英語がもっとできたら、自分の思っていることをもっと正確に早く説明できたのになあと思いました。はらはらした夜でしたが、自分たちだけで危機を乗り越えられるんだという自信をもつことができ、おもしろい経験だったと思います。

珍しい植物など、ハワイの自然に触れられたのもよかったです。ツアー中は、海のきれいに驚かされてばかりでした。透き通った緑から濃い青へ、沖へ向けてグラデーションになっていて、サンセットクルーズではそれにオレンジが散らばった海も360度パノラマで見られました。ずっと見ていたい、日本に帰りたくないと思いました。

以上のように、とても思い出にのこる楽しい旅でした。本物の修学旅行でグアムに行くまでには、もっと英語を使うのに慣れておきたいです。

2年 N.A.

私がこのツアーに参加した理由は二つあります。まず一つ目に英語の勉強ができることでした。私はとても英語が苦手です。ずっとどうにかしたいと思っていました。このツアーに参加することで何か変わることができればいいと思ったのです。二つ目に場所が海外だったことです。両親や周りの人に海外には一度早めにいっておいた方が良くと言われていたこともあ

り、私は海外に行くことに興味がありました。行き先が英語圏であることも決め手でした。

このツアーに行き一番に思うことは、日常生活での英語に触れ合えたということです。周りから聞こえてくる日常的な英語の会話はとても新鮮なものでした。例えばExcuse meの使用頻度が多いことです。少し通してほしい時やくしゃみをしたような時にもこの言葉を使っていました。反対に、Sorryという言葉はあまり聞かないことにも驚きました。このような状況で私は今までよりも身近に英語を感じる事ができました。

また、ハワイ大学での授業はとても楽しいものでした。少し難しい所もありましたが、思っていたよりもわかりやすく、理解もしやすかったです。大学生との1対2の会話で相手の言っていることを案外聞き取れたときはとてもうれしく思いました。最後に行われたディベートには皆が真剣に取り組み、少し緊張もしましたが、終わったときには楽しかったという思いと満足感がありました。授業の成果もあったと思います。

このツアーに行って困ったことは食事です。私はアレルギーですべての果物とトマトが食べられません。しかし、ハワイは果物ばかりで野菜は少なく、サンドウィッチには必ずトマトが入っていました。私が食べられるものは菓子パンや肉と日本とは違いパサパサした米だけでした。サイズも大きく、甘いものや油っこいものが苦手な私にはとても大変で、日本食が恋しかったです。

さまざまな思いをしましたが、このツアーに参加してよかったです。

2年 N.S.

ハワイスタディツアーを終えて、私は自分に自信が持てるようになった。

まず、私がこのツアーに申し込もうと思ったきっかけは単純に「英語をしゃべれるようになりたい」といった気持ちがあったからだ。特別な理由はなく漠然とそう思っていた。しかし今は、英語が話せるという利点や英語の重要性を感じている。そう感じるようになったのは、やはりハワイで実際の英語に触れたからだ。そして、実際の英語に触れる最も良い機会となったのが、ハワイ大学の学生たちと交流するインターチェンジだった。はじめ学生たちと交流すると知らされたときは不安だったが、担当の先生に会話の進め方とテクニックを習って、何よりも実際に交流しているうちに解消された。インターチェンジャーは親切で私のつたない会話文を理解しようと努めてくれ、私が逆に聞き取れなかったときは、ジェスチャーや例を示してくれた。そのため、2日目には緊張なく今の自分にできる最高のコミュニケーションがとれた。これは、本当に良い経験になったと同時に衝撃的だった。もちろん完璧ではなかった。自分は英語でコミュニケーションがとれたという事実が何よりも嬉しかった。また、大きな自信につながった。他にも道を聞かれて案内したり、インターネットの英語のサイトを調べながらディベートで利用できそうな資料を探したりと新鮮な経験がたくさんできた。わずか1週間の間であれほどまでに密度の濃い充実した時間を過ごせてよかった。最後には難しかったがスピーチもやりきることができた。

このツアーでは、どんなに難しいことも恥ずかしながら、また失敗を恐れずチャレンジすることから拓けていくものだと思えてきた。そして、そういった体験が自信になることも。ハワイスタディツアーが将来の自分の糧になると確信している。

2年 S.M.

私がこのハワイスタディツアーに参加したのは、もともと英語が好きで海外に興味があり、現地で実際にネイティブスピーカーと英語で話すという経験をしたかったからです。この機会を存分に利用してたくさん英語を学んでこようと意気込む一方、日本語が通じるところが多いハワイでどれだけ生の英語に触れられるのだろう、また、自分は英語できちんと会話ができるのだろうかという不安も感じていました。

実際には、ハワイ大学でディベートの授業やinterchangeなどのカリキュラムをこなす中で、英語でうまく意見を伝えられないもどかしさもありましたが、英語だけで受ける授業の楽しさ、言いたいことが伝わったときの嬉しさの方が大きかったです。

ハワイでの一週間の活動を通して、ネイティブスピーカーとコミュニケーションをとる中でしか学べないリスニングや英会話はたくさん経験できたと思います。しかしそれだけでなく、国籍や言語を越えた人との関わりの中で、自分の意見をしっかりと持ち、それを伝えることの大切さや難しさ、また会話をすることの楽しさを改めて感じることができました。

この経験を通じて、ますます英語や国際関係について学びたいと思うようになりました。国際社会に通用する人になるために、長期留学をするなど世界に出て勉強していきたいです。

このツアーに関わって下さったすべての方々に感謝して、学べたことを自分の将来につなげていけるように頑張っていきたいと思います。今回このハワイスタディツアーに参加できて本当に良かったです。

2年 T.C.

楽しかった。

そんな言葉では足りない。生ぬるい。私のごくわずかな語彙で伝えきることなど到底できないような、素晴らしい7日間だった。

ビバ初海外。様々な出会いがあった。Rue先生、Robert先生、タイ人のおじさん、自販機の使い方と小銭の種類を教えてくれたおじさん、フラダンスを教えてくれた女の人、鳥に餌をやるおじさん……。みんなのことを書きたい、伝えたい。けれども、そんな事をすると文字制限にも引っかかるし、なにより私の気力がもたないから、一番記憶に残ったことを伝えたいと思う。

それは、現地の学生であるMadisonとMichaelaとの出会いだ。2人とは、ハワイ大学でのInterchangeがきっかけで仲良くなった。私にとって、英語ペラペラの友だちができたのは初めてだ。「いえす」と「のー」と「イエエエエ」しか喋れないような私に、彼女たちは絵や写真を駆使して意思疎通を図ってくれた。

Madisonとはスペイン語について話した。私の名前は"girl"を意味するそうだ。Interchangeのあと、彼女と再会したのだが、「Hola(スペイン語でこんにちは),C!」と気さくに声をかけてくれた。

Michaelaとは世界の食べ物について話した。彼女は日本人とのハーフで、大阪を訪れたこともあるらしい。Takoyakiが通じた。私はハワイでマッシュドポテトを初めて食べて、その

美味しさに感動し、彼女に作り方を聞いたのだが、それに対する彼女の答えは「じゃがいもを茹でて潰して、クリーミーなものを混ぜるんだよ～」というシンプルなものだった。クリーミーなものって一体……。そんな思いを抱きつつ、帰国後作ってみたが、なんだかベチャベチャになった。どうやらクリーミーなものを入れすぎたようだ。

このスタディツアーで、海外で人と関わる仕事をしたいという思いが一層強くなった。そのためには、日本のことを知らないといけないし、もちろん英語だって勉強しないと……。英語落語も。忙しくなってきた。

2年 Y.Y.

ハワイで過ごした8日間は本当に充実していました。すべてが初めてで、毎日たくさんの思い出ができました。

ハワイに到着した次の日から、さっそくハワイ大学での授業が始まりました。授業は1クラス15人で、1週間を通してディベートの方法を学びました。私のクラスの先生はRobertでした。はじめは、英語が聞きとれなかったり、話しても全く通じなかったらどうしようと不安でしたが、Robertは私たちがわからなかったらゆっくり繰り返して言うてくれてとても助かりました。また、授業のあいだの休憩時間にはRobertから話しかけてくれることもあり、とても嬉しかったです。

大学での授業は毎日だいたい午前中に3時間、午後には3時間弱と、出発前は大変そうと少し心配でした。でも、実際に受けってみるとあっという間で全く苦にならず、むしろ楽しかったです。その中でも、一番印象に残っているのは2回あったInterchangeです。これは、ハワイ大学の学生と実際に話ができるプログラムでした。本来は北野生2人とハワイ大学生の3人1組になってするものでしたが、私は1回目1対1で、Amyと話すことになりました。会話につまったり、英語が理解できなかったらどうしようと思って本当に緊張しました。でも、Amyはとても日本に詳しくて、日本についての話で徐々に話が弾み、50分間がすごく短く感じました。1人だった分より多く話すことができ、いい経験になったと思います。

5日目にはダウンタウンに行ってカメハメハ大王の銅像など有名な建造物を見た後、Waikikiを歩きました。テレビで見たことがあるような景色ばかりで、ハワイの雰囲気を感じることができて興奮しました。他にも、フラダンスを習ったり、ディナークルーズで花火をみたりしました。

この8日間は、出発前に思っていたより何倍も充実していました。ハワイで経験したすべてのことが最高の思い出です。本当にありがとうございました。